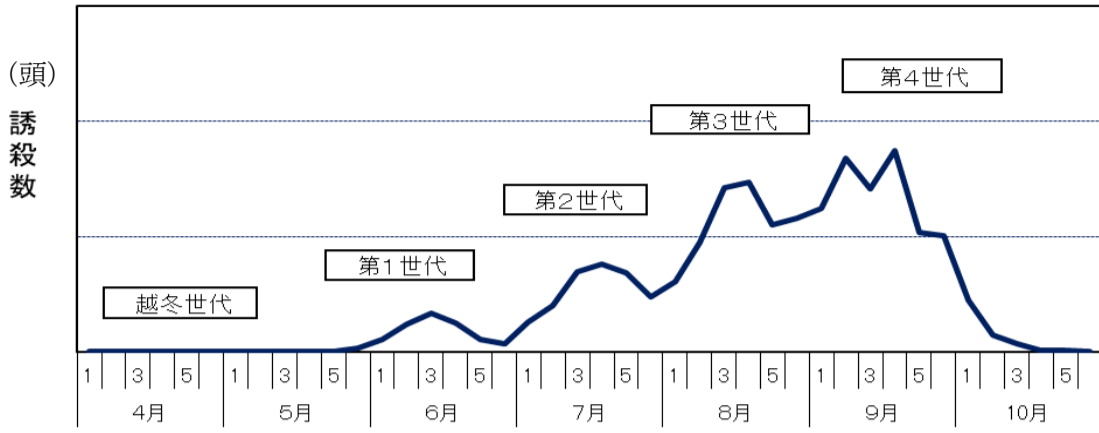


キンモンホソガのフェロモントラップ誘殺消長 [令和8年(2026年)調査]

病害虫防除部

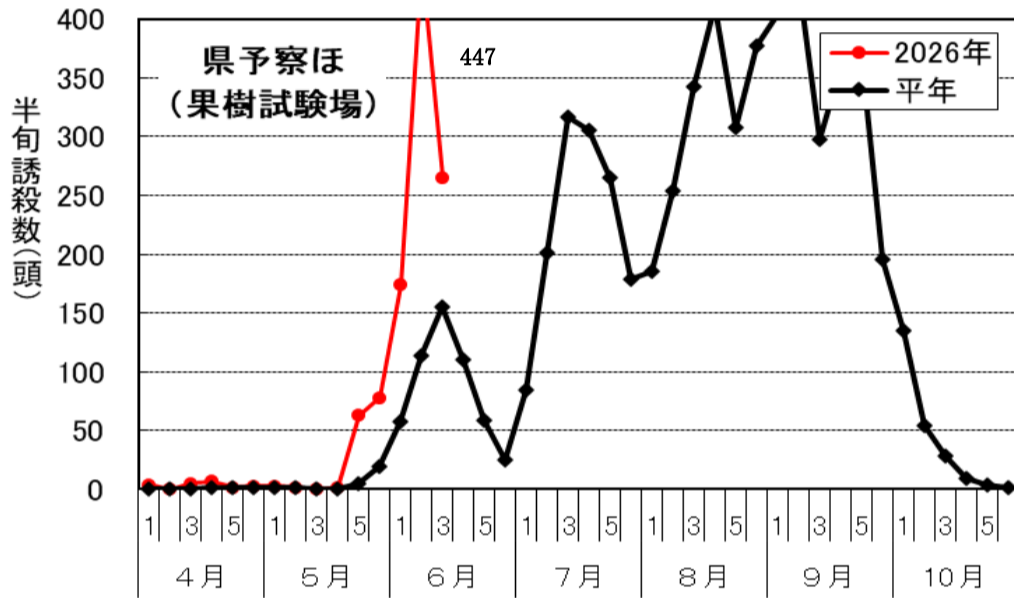
過去10年間の消長模式図(果樹試験場内 県予察ほ)



【発生生態と防除のポイント】

- ・年4～5回発生する。
- ・越冬世代成虫は4月中旬頃、第1世代成虫は5月下旬～6月中旬、第2世代成虫は7月上旬中、第3世代成虫は8月上旬～下旬、第4世代成虫は9月以降に発生する。
- ・第3世代成虫以降は発生が重なり合い、世代の区切りがはっきりしない。
- ・第2、3世代成虫の発生初期にあたる7月上旬、8月上旬が重要な防除時期である。

○県予察ほ(須坂市・果樹試験場)



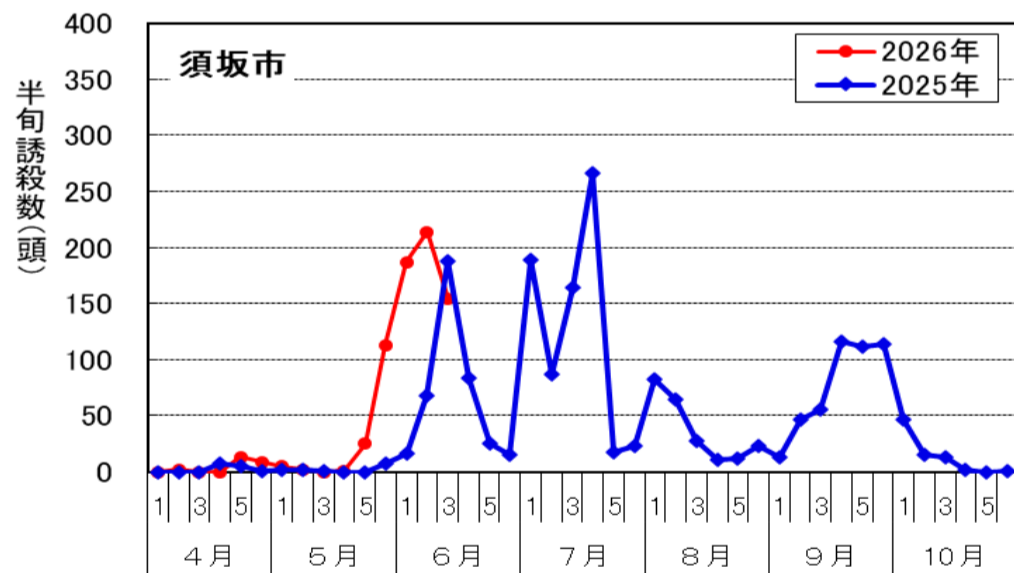
【調査地点】(標高約350m)

- ・須坂市(果樹試験場りんごほ場)
- ・平年は2016年～2025年の平均値

【コメント】

- ・平年より早く、5月第4半旬に今年度初誘殺が記録され、以降、6月第3半旬まで平年より多い誘殺が継続している。第1世代の誘殺ピークは平年よりやや早く、ピーク時の誘殺頭数は平年の3倍弱となっている。

○須坂市(病害虫防除部)



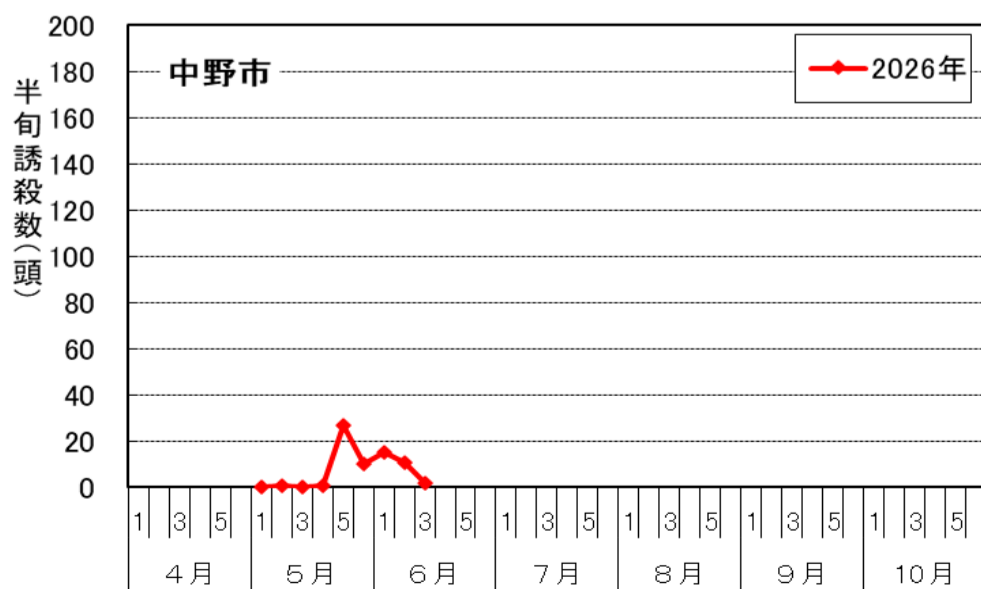
【調査地点】(標高約370m)

- ・須坂市(りんごほ場)
- ・2023年にほ場変更したため、平年値なし。

【コメント】

- ・越冬世代の誘殺が4月下旬に若干見られた後、第1世代成虫の誘殺が平年より2半旬ほど早く5月第5半旬に始まった。誘殺ピークも平年よりやや早かったが、ピーク時の誘殺頭数は、平年と大きくは変わらなかった。

○中野市(発生予察ほ)



【調査地点】(標高約360m)

- ・中野市(りんご発生予察ほ場)
- ・2026年から設置のため、平年値および前年値なし

【コメント】

- ・今年度から設置した中野市の発生予察ほでは、第1世代成虫の誘殺ピークと思われる時期は、他の2地点よりやや早く5月第5半旬にあったが、発生量は他よりずっと少なかった。